

＜オンラインセミナーのご案内＞

● 今回配布先を限定しておりますので、関係各位へのご回覧につき、ご高配をお願いいたします。

回				
覧				

高等教育活性化シリーズ 446 (通算 778 回)

2022 年 11 月 29 日(火)

グローバルな学位・単位等の相互認証 —

学修歴証明のデジタル化と国際人財交流の推進

～ 留学・就職時における各種証明の利便性／国際的通用性 ～

- ※ 高等教育資格の国際的承認の最新動向／東京規約とNIC-Japanの現況／世界規約への視座
- ※ 外国学歴・資格認証 (FCE) の国際協定／マイクロ・クレデンシャル (MC) の世界動向と可能性
- ※ [千葉工業大] N F Tによるデジタル学修証明の発行／共同開発の経緯～変革センターとの協働

● 講師陣 ●

森 利枝 氏 / (独) 大学改革支援・学位授与機構 研究開発部 教授
 高等教育資格承認情報センター (NIC-Japan) センター長

芦沢 真五 氏 / 関西国際大学 副学長 国際コミュニケーション学部 教授

石部 達也 氏 / (株) PitPa 代表取締役
 (学校法人千葉工業大学 変革センターとの共同開発者)

2022年11月29日(火) オンライン開催

地域科学研究会
高等教育情報センター

日時: 2022年11月29日(火) 13:00 ~ 16:40

会場: ウェブ会議システム

「Zoom (ズーム)」による
オンライン開催

※返信メールの送付をもって参加受付となりますので、必ずご確認ください。

- 参加費: A. ご一名(資料代込) 35,000 円(税込)
 B. メディア参加(資料・音声 CD 送付) 38,000 円(送料、税込)
 C. 高等教育同人(☆) 18,000 円(税込)

※メディア参加とは、開催後に当日配布資料及び講義の音声を収録したCDを送付する形式の参加方法です。

※当日参加とともに、音声CDをご希望の方には、別途CD代をご案内いたしますのでお問い合わせ願います。

※参加費の払い戻しは致しません。

☆高等教育計画経営研究所同人は個人加入の組織です。詳細はKKJ HPの「高等教育計画経営研究所の創設について」をご覧ください。

申込方法: 参加申込書に所要事項を記入のうえ、FAXまたはE-mailにてご送付ください。

支払方法: 銀行振込で承ります。

みずほ銀行麹町支店 普通 1159880

三菱UFJ銀行神田支店 普通 5829767

三井住友銀行麹町支店 普通 7411658

口座名 (株) 地域科学研究会

※ご請求なき場合は振込受領書を領収書に代えさせていただきます。

申込先: 地域科学研究会・高等教育情報センター

〒102-0093 東京都千代田区平河町 2-3-10

ライオンズマンション平河町 101

Tel: 03(3234)1231 Fax: 03(3234)4993

E-mail: kkj@chiikikagaku-k.co.jp

HP: http://www.chiikikagaku-k.co.jp/kkj/

研修会参加申込書

(※参加申込みの折は、必ずFAXかE-mailにてお送りください)

高等教育活性化シリーズ 446

(該当する□に✓印を)

年 月 日

学修歴証明のデジタル化と国際人財交流の推進

オンライン当日参加 メディア参加

勤務先

必要書類 請求書 見積書 領収書

所在地 (〒)

(請求書等記載の宛名)

連絡部課・担当者名

TEL

FAX

メールアドレス

参加者氏名	所属部課役職名	メールアドレス

※この個人情報は、本セミナーの一連の業務及び今後のご案内に使用させていただきます。

時間	講義項目
13:00 14:10	<p>□ 高等教育資格の国際的承認の支援の動き ～ 東京規約から世界規約へ～</p> <p>(独) 大学改革支援・学位授与機構 森 利枝</p> <p>1. ユネスコ東京規約のねらい (1) 学生と卒業者の国際流動の支援 (2) 東京規約の成立と現状</p> <p>2. 高等教育資格承認センターの役割 (1) 求められる情報 (2) 資格を承認するのはだれか</p> <p>3. 世界規約への視座 (1) 何が目指されているのか (2) いくつかの課題 <質疑応答></p>
14:20 15:30	<p>□ 学修歴証明の世界的動向と日本の課題 ～ 学修歴・資格認証/マイクロクレデンシャル (MC) の可能性～ 関西国際大学 芦沢 真五</p> <p>1. 学修歴証明を認証する手法 (外国学歴・資格認証を例に) (1) 外国学歴・資格認証 (FCE) とはなにか (2) FCE の国際比較 (3) FCE にかかわる国際協定: 東京規約がもたらすインパクト (4) デジタル時代における FCE</p> <p>2. マイクロクレデンシャル (MC) をめぐる世界的動向 (1) OECD による MC 動向調査 (2) 欧州大学ネットワークによる MC の活用 (3) 豪州における MC 運用ガイドライン</p> <p>3. 日本の大学における FCE と MC 発展の可能性 (1) 証明書のデジタル化と日本の大学 (2) 社会人の学び直しと MC (MC の運用はすでにはじまっている?) (3) 東京規約と MC の可能性 <質疑応答></p>
15:40 16:40	<p>□ [千葉工業大] NFTによるデジタル学修証明の開発と運用 ～ ウォレット管理/ポータビリティの実際/今後の展開～ (株) PitPa 石部 達也</p> <p>1. 共同開発の経緯 (1) (株) PitPa の概要 (2) 千葉工業大学変革センターとの役割分担と協働</p> <p>2. 大学が発行する各種の学修証明書 (1) 単位取得・ディプロマ修了・資格 (2) 在学・卒業見込 (3) 学位卒業・修了及び成績</p> <p>3. NFTによる学修証明の特徴 (1) ブロックチェーンへの記録 ～ 改竄防止 (2) ウォレット管理と可搬性 (3) 世界標準ツールによる国際人財通用性の支援</p> <p>4. 技術・システムの概要 (1) NFT と Verifiable Credentials を選んだ背景 (2) ウォレットや秘密鍵の保管 (3) 大学の実装及び学生・卒業生への活用</p> <p>5. 導入・活用の課題と今後の展開 【※本項目は KKJ 案であり、後日、ウェブサイトに掲載】 <質疑応答></p>